

指導のポイントを踏まえた小学校及び中学校における指導例

学級集団の状態 個の集団とのかかわり			1 仲間とのかかわりへの期待 自分の考え方や行動に不安を感じ、他へ依存しながら、周りとかかわりをもとうとしている	2 気の合う仲間とのかかわり 行動の仕方や好み等、気の合う仲間とグループをつくり、行動を共にする中で、仲間意識を強くしている	3 異なる考え方の仲間とのかかわり 係や当番等、活動の目的をもった小集団を学級の話し合いを通してつくり、その活動の中で人間関係を広げている	4 学級全体の仲間とのかかわり 学級担任の指導を基に、自分たちの生活から学級の問題を発見し、主体的に解決しようとしている	5 学級全体への積極的なかわり 学級の問題を発見し、その問題の原因や本質に気づき、充実した学級にするために積極的に取り組もうとしている
目標の設定	仲間と活動の目標を考え、決まった目標を理解する	小学校	・仲間づくりのきっかけをつかめるように、休み時間等に学級全体に声をかけ、グループを組んで遊べるように促したり、学級活動等で自己紹介をさせたりします。	・だれにとっても受け入れられる遊びや行動のきまりを作ることができるように、学級担任と一緒にグループの遊びや活動に入り、互いの気持ちを考えさせます。	・目標をもって活動できるように、係や当番等の活動を振り返り、仲間と協力したことや成果を認めるとともに、共に活動することで達成可能な課題を与えます。	・学級の問題について気付けるように、朝の会・帰りの会等で、望ましい友達関係や学級の状態等について話し、日常の活動を振り返らせます。	・学級全員の考えを生かして話し合いをまとめていくことができるように、計画委員会を開く等、組織作りを行い、自主的に話し合いを進めさせます。
		中学校	・学校生活への希望を抱くことができるように、学級担任の希望や願いを話し、一人一人の生徒に自分と学級集団のかかわりや成長の姿を気付かせます。	・多くの友達と目標を共有して活動することの価値を理解できるように、学級活動等で友達とのかかわりの中で個人が成長していくことを話したり考えさせたりします。	・それぞれの活動の学級や自分にとっての価値に気付くことができるように、帰りの会等で学級における役割や一人一人の成長等を振り返らせ、集団活動の目標をもたせます。	・学級の目標の設定やその達成に向けた意欲をもてるように、学級活動等で協力して達成する状況やよさを具体的に話しながら、自分の願いを伝えます。	・学級の課題に即した、達成可能な目標を考えることができるように、活動の前に個々の抱負を述べさせ、一人一人の願いを生かした目標となるよう話し合いを進めさせます。
方法・手段の決定	仲間と活動の目標を達成するための方法や手段を考える	小学校	・学級の生活への期待をもつことができるように、一年間の抱負や学級の活動目標等について話し合う機会を設定し、様々な考え方があることに気付かせます。	・解決方法を自分たちで考えることができるように、道徳の時間等で、よりよい友達同士のかかわり方を考えさせ、だれもが納得できる目標の大切さを理解させます。	・様々な考え方を生かして問題の解決に向けた方法を見付けることができるように、係活動等の活動と結果について互いに発表させながら、協力してできる方法を考えさせます。	・問題の解決方法を自ら考えることができるように、道徳の時間、帰りの会等で学級の出来事を振り返り、その原因や共に活動して解決できた経験等を話し合わせます。	・解決方法を決めるポイントに気付くことができるように、話し合いのよい点を認めるとともに、検討している方法や手段に対して達成可能なものであるか等の助言をします。
		中学校	・仲間と一緒に解決していく気持ちをもつことができるように、学級での活動目標を具体化させ、その解決のために仲間との協力が必要なことに気付かせます。	・だれもが納得する方法を見いだすことができるように、「友達」の存在や価値について考えさせ、問題解決のためには様々な考え方が大切であることを理解させます。	・よりよい学級をつくるための方法を考えることができるように、学級集団の活動に必要な係やルール、活動方法などを様々な考え方のよさを基に話し合わせます。	・自発的に解決方法を考えることができるように、今までの学校生活における学級集団の成長や活動の成果の原因を振り返らせ、効果的な方法を考えさせます。	・目標に向けて達成可能で効果的な方法や手段を考えることができるように、自分たちができていることとできていないことを踏まえて考えさせます。
役割の分担と実践	仲間との活動の中で自分の役割をもち、他の人の役割も理解しながら、協力して実践する	小学校	・学級の中での自分の存在に気付くことができるように、仲間や学級担任の手伝いをしたり、仕事を見付けたりしている児童を認めて、褒めるようにします。	・学級にとって必要な仕事や仲間の役割に気付くことができるように、自分のやりたい仕事とともに、仲間が活躍でき、学級のためになる仕事を考えさせます。	・学級のためになる活動方法や個々の役割を考えることができるように、学級活動等で係活動のよい実践を学級全体に紹介したり、仲間の活動を参考にさせたりします。	・学級の目標や活動を意識し、解決方法について考えることができるように、朝の会等で学級の問題を投げかけ、一人一人の役割を生かすことの大切さに気付かせます。	・学級の一員としての自覚をもち、仲間の役割を理解して行動できるように、学級活動等で、学級の目標達成のために一人一人がどのようなことができるのか考えさせます。
		中学校	・学級集団の向上に必要な自分の役割について考えることができるように、生徒にとって興味・関心のある係活動等を具体化させ、学級での存在感を感じさせます。	・仲間の存在や役割を意識して行動できるように、学級における個々の存在価値を認めるとともに、道徳の時間等で新しい友人関係を築くことのよさを話します。	・互いの役割を理解し、分担して活動できるように、協力し合うことの意義を話すとともに、グループごとに面談を行い、個々を生かした活動方法のアドバイスをします。	・自分の力や能力を生かした実践方法や態度が身に付くように、よりよい学級集団を作るために自分ができることを考えさせる活動を行います。（ロールプレイング等）	・学級目標に向けて一人一人が自分の役割を自覚できるように、各自がその能力にふさわしい役割をもち、学級のために力を発揮することができるかを確認させます。
相互の認め合い	相手の考えや意見を認める	小学校	・周りの仲間の特徴やよさに気付くことができるように、あいさつ運動やあいさつカードを活用して児童が互いにかかわる取り組みを進めます。	・他者の存在やよさに気づき、児童同士の人間関係が広がるように、学級活動等で自己紹介カードや他者紹介カードを活用して、自分のこと等を伝える機会を設定します。	・相手のよさを認め、共に協力する大切さに気付くことができるように、よいところ探し等、互いの活動のよさを理解させたり、様々なグループ活動を取り入れたりします。	・互いに学級の大切な一員であると感じることができるように、帰りの会等で、係活動等の努力を紹介したり、友達への感謝の気持ちを伝えたりする活動を取り入れます。	・一人一人の考えを認め、活動に生かすことができるように、学級の問題の解決策等について、各自の考えをアンケート等でまとめ、それぞれのよさを見付けさせます。
		中学校	・互いの考えに気づき、自分の行動に生かすことができるように、自己紹介で「友達に望むこと」等を発表させ、自分の考えを素直に言える環境をつくります。	・自分の考えを適切に表現したり相手の意見を認めたりできるように、友達の誘い方や断り方等、気持ちの伝え方を学ばせます。（構成的グループ・エンカウンター等）	・互いによいところを認め合ったり、問題解決のヒントを得たりすることができるように、学級活動等で各活動の工夫や問題解決の方策を情報交換をさせるようにします。	・互いのよさを取り入れた行動の改善方法に気付くことができるように、帰りの会等で、活動を振り返る機会を設定し、「参考にしたい方法」等に注目させます。	・一人一人の考えや行動を互いに認め合い、自己有用感が高まるように、帰りの会等で、学級で取り組んだ活動について互いの努力や成果を伝え合う機会を設定します。
所属感・連帯感の高まり	集団に対して所属意識、連帯感や連帯意識が高まる	小学校	・自ら友達づくりを進めることができるように、学級活動等でゲーム等を取り入れた活動を行いながら、仲間と共に活動する楽しさを味わわせます。	・学級の仲間としての意識が高まるように、グループ対抗でのゲームを行ったり、異なるグループとの話し合いの機会を設けたりします。	・学級における自分の存在を自覚できるように、朝の会・帰りの会等で、係や当番等の一人一人の活動が学級にとってどのような役割があるのか説明します。	・だれにとっても居心地のよい学級にするための大切さに気付くことができるように、朝の会や帰りの会等で、学級の歌を歌う等、学級全体で取り組む活動を取り入れます。	・学級のためにすすんで活動できるように、学級の生活上の問題等の解決方法を考えさせ、実現するための助言を与えながら自分たちの力で課題を解決させます。
		中学校	・一人一人が学級の生活に溶けこめるように、学級全体のレクリエーション等を行い、集団の中で活動する楽しさを味わわせます。	・多くの仲間の中で自分の存在を確認することができるように、様々なグループでゲームを行ったり、グループごとの体験活動を振り返ったりする機会を設定します。	・学級の一員としての自分の役割に気付くことができるように、グループの活動が学級にとってどのような役割や意義があるのか考えさせます。	・学級のために活動する意欲が高まるように、活動の中で一人一人を励ますとともに、活動過程における努力や成功のポイント等、達成感を得られるような助言をします。	・一人一人にとって満足できる学級集団であるかを意識して行動できるように、自分と集団のかかわりを振り返る機会を設け、学級等の活動を互いに評価させます。
相互の尊重	相手を尊重し、支えていく態度や行動をとる	小学校	・相手を大切に思い、よい点を認めたり助けたりできるように、学級担任が意識して児童のよさを認め、褒めるようにし、学級全体に広めるようにします。	・様々なグループで相手を尊重した行動をとることができるように、学級活動等で良好な人間関係を築くための行動の仕方を学ぶ機会を設けます。（ソーシャルスキル・トレーニング等）	・互いの立場を理解し、よさや能力を認めながら行動できるように、朝の会等で「1分間スピーチ」等を行い、互いの活動の仕方や考え方を知る機会を設けます。	・互いのよさや考えを尊重した活動を進めることができるように、朝の会等で互いの活動等についてよりよくなるための意見やアドバイスを伝え合う場を設けます。	・一人一人の個性を尊重し、支えていくことができるように、学級活動等で仲間と学級への思いや悩みを共有し、解決に向けてアドバイスをし合う機会を設定します。
		中学校	・互いを大切にした学級の在り方を考えることができるように、学級活動等の話し合いを通して、一人一人の願いを基にした学級の目標を具体化させます。	・様々な価値観をもっている仲間の存在の大切さに気付くことができるように、いじめ問題等の原因やよりよい行動の仕方について考えさせたり話し合わせたりします。	・互いの活動を認め合い、助け合うことができるように、帰りの会等でそれぞれのグループ活動のよいところを見付けさせるとともに、課題を話し合わせます。	・一人一人が相手を尊重した行動ができるように、仲間の行動が学級の活動や雰囲気の高まりに対してどのような価値があったのか考えさせたり、説明したりします。	・相手の個性を尊重しながら行動できるように、一人一人の意見を大事にし、その意義を理解しながら真剣に受け止めることができるかを互いに評価させます。